

畜産クラスター事業の継続と予算の確保

政策提言先 農林水産省

政策提言の要旨

TPP11や日米貿易協定等の発効による影響に対応するため、畜産クラスター事業等の様々な対策が講じられ、規模拡大や生産性向上による生産基盤の強化が図られているところです。こうした中、近年、国内の畜産物の需要は堅調に推移しており、特に牛肉はさらなる増加が見込まれています。また、新型コロナ禍終息後にはインバウンド需要の回復など国産畜産物の需要拡大が見込まれます。

こうした需要の拡大に対応できるよう、地域の畜産関係者が一体となったクラスターの形成を一層強化し、産地の競争力をさらに高めていく必要があります。そのため、中山間地域等における畜産業の振興を図る取り組みに有効な畜産クラスター事業の継続と予算の確保を提言します。

【政策提言の具体的内容】

中山間地域等における畜産業の振興を図るために次の取り組みを提言します。

施設整備への支援に十分な予算を確保するとともに、建設用地の取得や造成までに数年の期間を要するため、少なくとも10年以上の事業継続

国内需要の拡大に対応できるよう経営体質を強化するため、作業の高度化や省力化に資する機械導入等への支援継続と十分な予算の確保

繁殖雌牛や乳用後継牛に対する増頭奨励金の継続と十分な予算の確保

【政策提言の理由】

- ・ 中山間地域が多い本県では、多様な雇用の場を創出するため、基幹産業となる畜産業の規模拡大や加工、流通販売などの関連企業が集積する「畜産クラスター」の形成に取り組んでおり、意欲ある生産者が畜産クラスター事業を活用して規模拡大や生産性向上を図るなどの成果が見えてまいりました。
- ・ こうした中、畜産物の国内需要は堅調に推移しており、特に牛肉は消費量が年々増加していますが、国内生産量が消費量を大きく下回っている状況です。さらに、高品質な国産畜産物を求めるインバウンド需要や輸出による海外市場の開拓も進んでいます。
- ・ こうした需要拡大に対応できるよう、小規模経営の多い本県畜産業においては、規模拡大による収益性の向上や、特色ある畜産物の生産によるブランド化に向けた取り組みを進めているところです。
- ・ 取り組みを進めていくうえで、規模拡大等に活用可能な畜産クラスター事業は農家の

評価も非常に高く、本県でも、四万十町（養豚）、梶原町（肉用牛）、大月町（養鶏）などにおいて産地の拠点となる大規模畜産施設の整備に活用させていただき、大変感謝しております。

- ・ しかしながら、本県のような中山間地域の小規模な産地が、今後、持続的な畜産経営を実現していくためには、さらなる生産基盤の強化が必要ですが、新たな施設整備に必要な土地の取得や造成には、数年の期間を要します。
- ・ 一方、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、和牛肉を中心とした需要の減少や価格の下落で国内畜産業は大きな影響を受けていますが、今後の需用の回復を見据え、施設整備による規模拡大に加え、省力化機械などの導入により、経営体質を強化することが必要です。
- ・ 新たな食料・農業・農村基本計画に位置づけられている畜産の競争力強化の一環として、畜産クラスターの取り組みをより強力に推進するため、畜産クラスター事業の継続と十分な予算の確保が必要です。
- ・ また、新しい担い手が規模拡大に取り組む中、令和2年度から措置された繁殖雌牛や乳用後継牛の増頭に対する奨励金が規模拡大の後押しとなっていることから、当該事業の継続と十分な予算の確保が必要です。

【高知県担当課】農業振興部 畜産振興課

提言 畜産クラスター事業の継続と予算の確保

畜産の情勢

- H30.12 TPP11の発効
- H31.2 日欧EPAの発効
- R2.1 日米貿易協定の発効

規模拡大や生産性向上による生産基盤のさらなる強化が必要

国の施策

TPP等に打ち勝つ「攻め」の展開

畜産クラスター事業の活用

施設整備・機械導入などへの支援
 繁殖雌牛や乳用後継牛の増頭奨励金
 畜産クラスターの形成により、畜産農家が地域の関係者と連携して、収益性の向上を図り、安定的・持続的な経営を行うことで競争力を強化

提言の理由

さらなる生産基盤強化のためには

中山間地域等での施設整備には土地の取得や造成に数年の期間を要するため、中長期的な事業の継続が必要
 生産性向上や労働力不足に対応するためには、IoT機器や省力化機械などの導入による経営体質の強化が必要
 規模拡大に取り組む担い手から、繁殖雌牛等の増頭奨励金の継続を求める声が出ている。

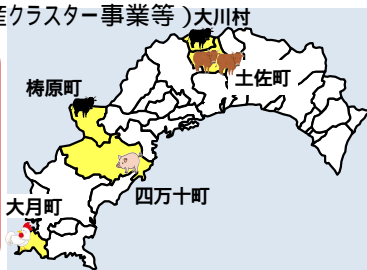
高知県内の情勢

小規模産地ながらも意欲ある生産者の規模拡大を推進

畜舎の整備（畜産クラスター事業等）大川村

強い農業づくり交付金+畜産クラスター事業で規模拡大の見込み

県内肉用牛飼育頭数約3割増！
 県内肉豚出荷頭数約1割増！（H25と比較したR元の頭数）

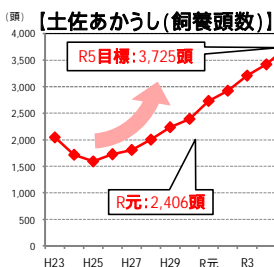


繁殖雌牛の増頭担い手の確保

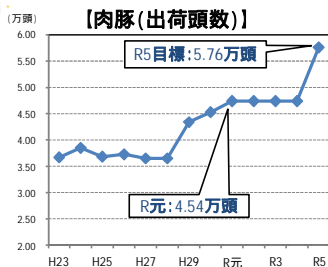
子牛の増頭流通体制の強化

【第4期高知県産業振興計画による取組】

順調に増加



クラスター事業のお陰ですね！



県内2か所の食肉センターを建替整備

生産者は、産地や消費地に近いセンターに出荷でき、輸送時間とコストを抑制

増頭対策により、さらなる生産拡大

安全安心で鮮度の高い県内産の食肉を安定供給



地域の取組

さらなる規模拡大による収益性向上

県内各地域で新たな増頭計画が具体化

- R3～・四万十町（養豚2戸）
- ・四万十市（肉用牛1戸）

これまでの取組を後押しする対策が必要！

新たな施設整備には土地の造成までに数年の期間が必要！



課題

中長期的な事業の継続が必要

出荷頭数を増やし、インバウンドを含む国内需要にしっかりと対応することが必要！



課題

規模拡大とともに生産性向上や労働力不足への対応が必要



畜舎環境改善 省力化

担い手が取り組む規模拡大をしっかりと支える必要！



課題

繁殖雌牛等の増頭への支援が必要



増頭の推進

持続的な畜産経営の実現へ！

提言内容

「畜産クラスター事業」において、施設整備への支援に、十分な予算を確保するとともに、少なくとも10年以上は継続することを提言します。
 経営体質強化のための作業の高度化や省力化に資する機械導入等への十分な予算の確保を提言します。
 繁殖雌牛や乳用後継牛に対する増頭奨励金の継続と十分な予算の確保を提言します。

中山間地域等の競争力強化を実現！



輸入畜産物やコロナ禍にも負けないぞ！